

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。
平成30年10～12月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

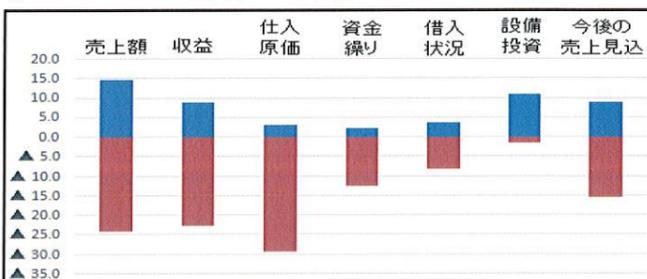
【調査期間】平成30年10月～12月

【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種を中小企業を中心に100社にアンケートをお願いした。(回答企業数 68社 68%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)÷全体数×100-(④+⑤)÷全体数×100でDIを算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。
※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

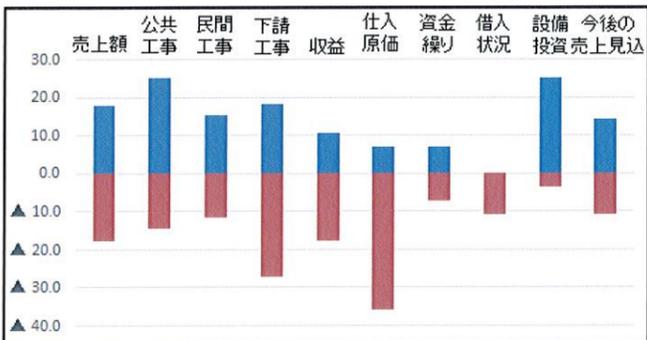
全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増	2	16	24	19	7	減
収益	増	0	12	29	23	4	減
仕入原価	低	1	2	29	32	4	上
資金繰り	好	0	3	49	15	1	悪
借入状況	減	0	5	54	7	2	増
設備投資	低	1	13	52	2	0	上
今後の売上見	増	0	12	38	15	3	減



平成30年10月～12月にかけての全業種のDI値については、売上額▲9.6ポイント、収益▲14.0ポイント、仕入原価▲26.5ポイント、資金繰り▲10.3ポイント、借入状況▲4.4ポイント、今後の売上見込▲6.6ポイントと、設備投資9.6ポイント以外、全てマイナスであった。

7月以降の災害による客数・売上減少は、回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況が続いている。経営上の問題点については、仕入原価の上昇が36.8%、売上減少32.4%、人手不足30.9%の順であったが、7月～9月と比べ、仕入原価の上昇は5.1%、売上減少は7.9%、人手不足は15.9%改善されている。重点施策については、経費の節減が44.1%と一番多く、次に販路拡大が33.8%であった。

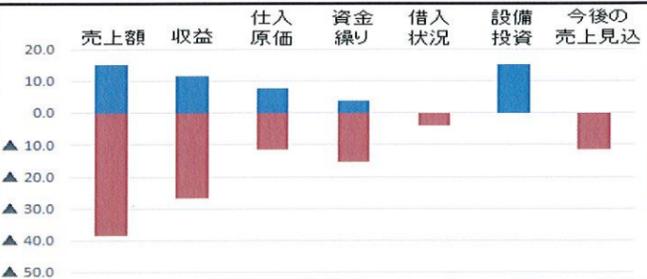
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増	0	5	5	3	1	減
公共工事(元)	増	1	5	5	2	1	減
民間工事(元)	増	1	2	7	3	0	減
下請け工事	増	1	2	3	4	1	減
収益	増	0	3	7	3	1	減
仕入原価	低	1	0	5	6	2	上
資金繰り	好	0	2	10	2	0	悪
借入状況	減	0	0	11	3	0	増
設備投資	低	0	7	6	1	0	上
今後の売上見	増	0	4	7	3	0	減



※民間工事なし1件、下請け工事なし3件。

建設業のDI値では、公共工事、民間工事は増加であるが、下請け工事が減少であった。仕入原価については、DI値で▲28.6ポイントと引き続き上昇しているが、設備投資については21.4ポイント増加と積極的な企業が多く見られる。

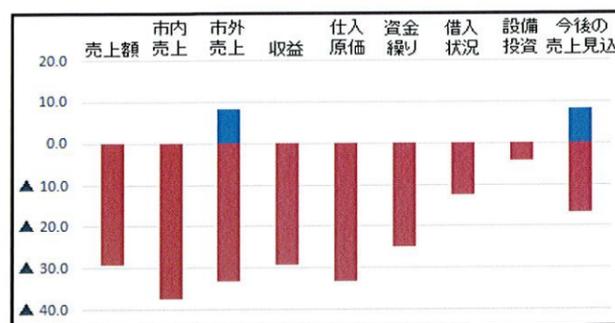
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増	1	2	2	6	2	減
収益	増	0	3	4	5	1	減
仕入原価	低	0	2	8	3	0	上
資金繰り	好	0	1	8	4	0	悪
借入状況	減	0	0	12	1	0	増
設備投資	低	1	2	10	0	0	上
今後の売上見	増	0	0	11	1	1	減



小売業のDI値では、設備投資以外はマイナスとなっており、特に売上額が▲23.1ポイントと6割以上の企業が減少となっている。経営上の問題点でも売上減少が半数以上あり、重点経営施策では、経費の削減、販路拡大が半数近く占めている。

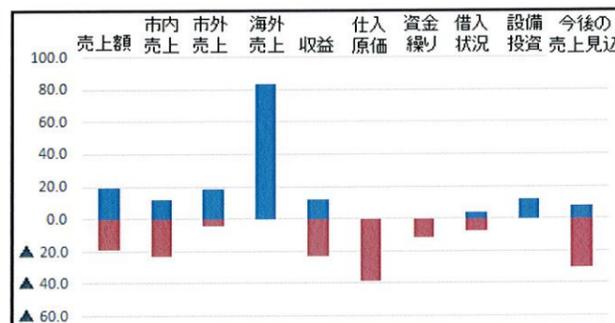
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増	0	0	6	5	1	減
市内売上	増	0	0	4	7	1	減
市外売上	増	0	2	3	6	1	減
収益	増	0	0	6	5	1	減
仕入原価	低	0	0	4	8	0	上
資金繰り	好	0	0	7	4	1	悪
借入状況	減	0	0	10	1	1	増
設備投資	低	0	0	11	1	0	上
今後の売上見	増	0	2	6	4	0	減

卸売業のDI値では、全ての項目でマイナスとなっており、市外売上、今後の売上見込以外は増加等の改善企業が無く非常に厳しい状況が続いている。特に市内売上▲37.5ポイント、仕入原価▲33.3ポイントと大幅なマイナスとなっている。



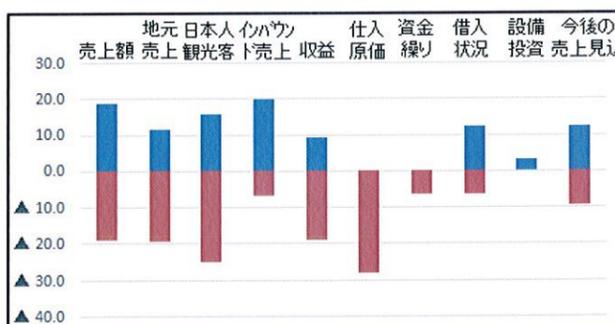
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増	1	3	5	3	1	減
市内売上	増	0	3	5	4	1	減
市外売上	増	0	4	6	1	0	減
海外売上	増	2	1	0	0	0	減
収益	増	0	3	4	6	0	減
仕入原価	低	0	0	3	10	0	上
資金繰り	好	0	0	10	3	0	悪
借入状況	減	0	1	10	2	0	増
設備投資	低	0	3	10	0	0	上
今後の売上見	増	0	2	5	4	2	減

製造業のDI値では、市内売上はマイナスであるが、市外売上は13.6ポイント、海外売上は83.3ポイントと大幅に増加している。しかしながら、仕入原価で▲38.5ポイントと引き続き大幅に上昇しており、収益減少の一因となっている。



※市外売上なし2件、海外売上なし10件。

観光サービス		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増	0	6	6	2	2	減
地元売上	増	0	3	7	1	2	減
日本人観光客売上	増	1	3	5	6	1	減
インバウンド売上	増	0	6	8	0	1	減
収益	増	0	3	8	4	1	減
仕入原価	低	0	0	9	5	2	上
資金繰り	好	0	0	14	2	0	悪
借入状況	減	0	4	11	0	1	増
設備投資	低	0	1	15	0	0	上
今後の売上見	増	0	4	9	3	0	減



※地元売上なし3件、インバウンド売上なし1件。

観光サービス業のDI値では、7月以降の災害により観光客が減少していたが、回復傾向にあるとの企業が増加している。特にインバウンド売上について4割の企業がやや増加であり、今後の売上見込も3.1ポイント増加であった。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	3	7	5	4	3	22
②人手不足	9	1	2	3	6	21
③採算の悪化	2	3	2	1	3	11
④仕入価格の上昇	6	4	4	3	8	25
⑤後継者問題	1	1	3	2	1	8
⑥資金繰りの悪化	1	2	2	2	1	8
⑦その他	0	1	0	2	0	3

※その他:社員教育(小売業)、売先の確保・開拓(製造業)、廃業予定(製造業)

問3 当面の重点経営施策についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	6	6	6	7	5	30
②人材の確保	9	1	2	3	5	20
③販路拡大	1	6	8	4	4	23
④設備投資	2	3	2	3	3	13
⑤事業計画策定	1	2	2	0	3	8
⑥業務の効率化	5	2	5	3	6	21
⑦その他	0	0	0	2	1	3

※その他:人材の育成(製造業)、廃業予定(製造業)、キャッシュレス化の予定(観光サービス業)

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。